

実施日	
-----	--

患者番号	性別	身長	cm	指示医
カナ氏名	生年月日	体重	kg	
患者氏名	年齢	体表面積	m <sup>2</sup>	

Rp)イミフィンジ 1500mg/body day1  
 ゲムシタビン(ジェムザール) 1000mg/m<sup>2</sup> day 1,8  
 シスプラチン(ランダ) 25mg/m<sup>2</sup> day 1,8 3週毎(2週投与1週休)

本管①	Day8
KN3号輸液 500mL	1 袋

レジメンコメント1
レジメンコメント2

側管①	15分	パロセトロン点滴静注バッグ0.7 1 袋
		デカドロン注射液1.65m 4 管

Day2、3 Day8、9  
 デカドロン錠4mg 2錠(8mg) 2× 2日間内服

側管②	60分	大塚生食注 500mL 1 袋
-----	-----	-----------------

- <注意すべき副作用>
- 発熱 ●食欲不振、吐き気
  - 血管痛、静脈炎 ●口内炎
  - 脱毛(頭髪、まつ毛、眉毛など)
  - 手足のしびれ ●白血球減少
  - 赤血球減少(貧血) ●血小板減少
  - 腎機能低下 ●肝機能低下
  - 間質性肺疾患 ●内分泌障害 ●大腸炎
  - 皮膚障害

側管③	60分	※遮光※
		大塚生食注 500mL 1 袋
		シスプラチン mg
		〈腫〉ランダ注50mg/100mL
		〈腫〉ランダ注10mg/20mL

- <実施時の注意>
- 漏出時:直ちに投与を中止し、薬剤を吸引、洗浄し、ステロイドの局注、ステロイドの外用剤で対処する。
- デュルバルマブ  
 0.2又は0.22µmインラインフィルター(ポリエーテルスルホン製等)を使用して点滴静注すること。  
 希釈後デュルバルマブの最終濃度が1~15mg/mL以上となるように調製する。  
 体重が30kg以下の場合の1回投与量は20mg/kgとする。
  - シスプラチン  
 アルミニウムを含む医療器具を用いないこと。  
 光により分解するので直射日光を避けること。点滴

静注	シスプラチン終了時静注
	フロセミド注20mg「NIG」 1 管

側管④	10分	【50mL】生理食塩液50 1 瓶
-----	-----	-------------------

側管⑤	30分	【mL】生理食塩液100mL mL
		ゲムシタビン塩酸塩 mg
		〈腫〉ゲムシタビン点滴静注液1g
		〈腫〉ゲムシタビン点滴静注液200mg

